

カードゲーム 食の安全カルテットのあそびかた

カルテットのあそびかた



カルテット (quartett, ドイツ語) とは、もとはイタリア語からきた言葉で、4 つ組、4 つ揃いを意味します。ゲームのカルテットは、ドイツではよく遊ばれているトランプゲームの一種で、4 枚の絵札を集めて遊びます。

- ・ 人数は 4～5 人くらいが適当です。多くなってもゲームはできますが、難しくなります。
- ・ カードは 10 色全 40 枚あります。このなかから 8 色 32 枚を選んでください。すべてのカードを使ってもよいですが、難しくなります。
- ・ 選んだ 32 枚のカードをよく切って、全員に 1 枚ずつ裏向きにして全てのカードを配ります。
- ・ じゃんけんで最初のプレーヤーを決め、その人から順に時計回りで進みます。
- ・ プレーヤーは、メンバーの誰かを指名して、10 色全 40 枚のカード一覧を参考に、自分の必要なカード (例えば「食中毒の家畜」) を持っているかどうかたずねます。
- ・ 聞かれた人は、そのカードを持っていたら渡さなければなりません。このときにうそはつけません。
- ・ カードをもらえた場合は、その人が続けてプレイできます。はずれた場合は次の人に交代します。
- ・ 同色の 4 枚組ができたら「カルテット」と言って自分の前に置いてください。
- ・ 全員の手持ちのカードがなくなった時に、もっとも多くの 4 枚組を自分の前に置いている人が勝ちです。(ルールの補足)
- ・ 手持ちのカードがなくなってもゲームに参加し続けることができます。また逆に、手持ちのカードがなくなったら、そのプレーヤーは続けて参加できないようにするルールにもできます。

※ 遊び方ムービー: <http://www.youtube.com/watch?v=1-eWwmGz6WE>

神経 Swing Jack (すいじゃく) のあそびかた



神経 Swing Jack (すいじゃく) は頭がくらくらするほど難しい神経衰弱 (しんけいすいじゃく) です。

- ・ カードをよく切り、トランプのように裏返して並べます。
- ・ じゃんけんで最初のプレーヤーを決め、その人から順に時計回りで進みます。
- ・ 同色の 4 枚のカードのうち、どれか 2 枚をそろえばその 2 枚をもらえます。
- ・ まず 1 枚カードをめくり、次に 2 枚目のカードをめくる時にそのカードに何が書いてあるか予測し、(例えば「食中毒の家畜」) 音に宣言してからめくり、当たれば、カードを獲得することができます。
- ・ ゲームの勝敗は取ったカードの枚数を 1 枚 1 点として点数が多い人が勝ちです。同色の 4 枚すべてが揃っていたら、ボーナスとして、他の 8 点がもらえます。

ゲームのあとで



カードは全部で 10 色、4 枚ずつあります。カードを 1 色ごとに並べてみましょう。カードの解説にはどのようなことが書いてありますか? そのカードを取った人が、読み上げてみてください。カルテットのゲームに勝つためには、他の人がどのカードをほしがっていたか、カードが誰から誰へ移動したか、よく聞いていなければなりません。現実の場面でこれほど一生懸命人の話を聞くことはあまりないかもしれませんが、食の安全について、判断するときには「情報をよく聞く」ということが重要になります。カルテットで楽しく遊んだあとは、ぜひこの心構えを覚えておいてください。さらに詳しく知りたいときは、パンフレットの解説を読んでみてください。

この冊子は、厚生労働科学研究費補助金「食品の安心・安全確保推進研究事業 (平成 20 年度)」
「食品の安全についての普及啓発のためのツール及びプログラム開発に関する研究」(主任研究者:丸井 誠 慶応義塾大学保健学研究所)によって作成されました。